



# 学校だより

令和5年8月28日

横浜市立菅田の丘小学校

校長 若山 京子

8・9月号

[葉月 August]

[長月 September]

## 「みんな花笑み」

- 「知」 主体的に考え粘り強く取り組む子を育てます。
- 「徳」 自分を大切にし、互いの違いを認め合える子を育てます。
- 「体」 心身ともにたくましく生きていく子を育てます。
- 「公」 まちを愛し、人とつながり、ともに創造する子を育てます。
- 「開」 広い視野をもち、自分の思いをのびのびと表現する子を育てます。

## 防災意識を高める

校長 若山 京子



長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な笑顔が戻ってきました。大きな事故・事件が無く、無事に夏休みを終えることができたことを何より嬉しく思っています。子どもたちが夏休み中、安全に過ごすことができたのも、保護者の皆様、地域の皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

制限の無い夏休みは実に4年ぶりのことです。日本古来の伝統的な祭り、花火大会、町内の夏祭り、イベント等が各地で賑やかに催されました。私も学区にある町内のお祭りにいくつか参加をさせていただいたときには、浴衣や甚平に身を包み、楽しそうに屋台を巡る子どもたちに出会いました。お祭りに限らず、子どもたちは自由に色々なことを経験し、思い出を作ることができたのではないのでしょうか。夏休みに見たこと、聞いたこと、感じたこと、自分の経験したことから得るものがたくさんあったことと思います。それを夏休み明けの学校生活に存分に生かしながら、自分をさらに輝かせるために様々なことにチャレンジして、頭も心も体も大きく成長してほしいと願っています。

さて今年も連日体温に迫る気温で、日本に限らず世界中が酷暑にあえぐ夏となりました。世界各地で猛烈な熱波が続き、欧州連合（EU）の気象情報機関によると、今年7月の世界の平均気温が16.95度で、観測史上最も暑い月だったことを確認したとのことです。国連のアントニオ・グテレス事務総長は「もはや地球温暖化ではなく、地球沸騰化の時代が到来した。」と警鐘を鳴らしています。異常気象による災害も激甚化しています。台風や線状降水帯の発生も、大きな被害を各地にもたらしています。地球温暖化は、巨大地震の発生を加速化しているとも言われています。能登半島、千葉県、北海道など、震度5以上の地震が今年も頻発しています。

今年に関東大震災の発生からちょうど100年経ちます。この地震による死者・行方不明者は推定10万5,000人で、明治以降の日本の地震被害としては最大規模の被害でした。最近の研究では、今後30年以内に、南海トラフ地震あるいは、関東一体に震度6以上の直下型地震が起きる確率は80%近くあると言われてしています。皆様のご家庭では、万が一、家族が別々の場所にいる時に地震が発生したらどこで落ち合うか決めているでしょうか。ご自宅の地域避難場所がどこかを、家族で共有することはとても大切なことです。家族が3日は過ごせるような備蓄品を、すぐに持ち出せるよう準備しておくことも必要だと言われています。9月30日（土）には本校を含め菅田地区それぞれの防災拠点で訓練が行われます。この日のために自治会役員の方々は何度も会合を重ね準備を進めてくださっています。当日は全学年で防災に特化した学習を行い、6年生は訓練を見学させていただきます。自分の命は自分で守ること、協力することの大切さを学ぶ一日としてまいります。

防災の意識を高めることと同時に、地球温暖化を止め、地球が壊れてしまうことをなんとしても避けなくてはなりません。豊かな地球を維持していくために、できること必要なことを子どもたちとともに考えながら、リサイクル、リユース、リデュース（ゴミの量削減）、エコバック持参、節電など、まずは個人でできることに取り組んでいくことが大切だと思います。ご家庭でもお子さんと一緒に話題にさせていただきますようよろしくお願いいたします。

